フルマネージド・クラウド版 Redmine
MY REDMINE

2027 新春アップデート

新機能ハイライト

ファーエンドテクノロジー株式会社



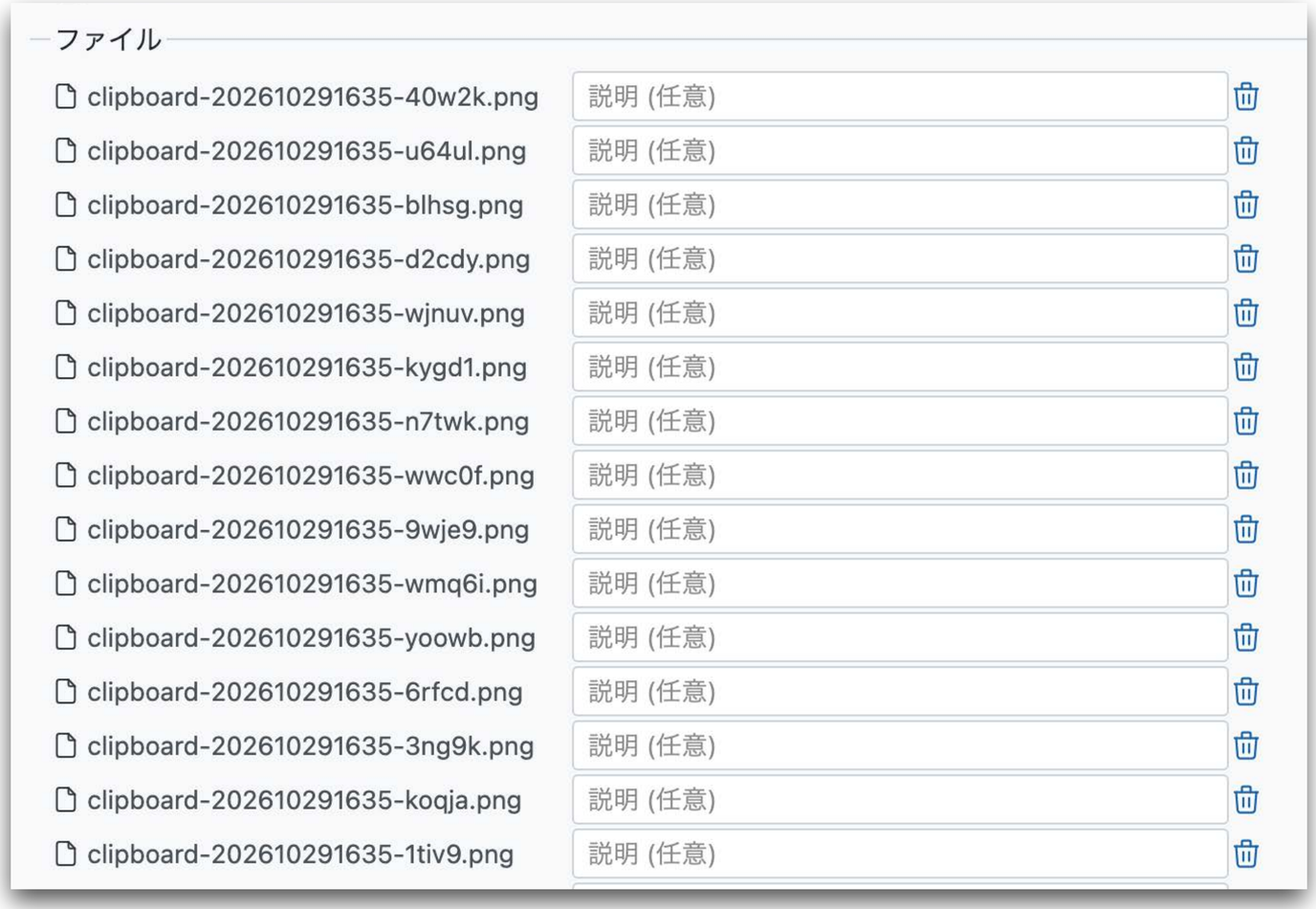
添付ファイル

MY REDMINE

一度に添付できるファイル数の上限を10から50に引き上げ

Feature #18556: Raise the limit of attachments at once from 10 to 50 and make it configurable in configuration.yml (by Go MAEDA)

チケットやWikiなどで、1回の更新で添付できるファイル数の上限が10から50に引き上げられます。多数のスクリーンショットなども、何回にも分けずにまとめて添付できます。

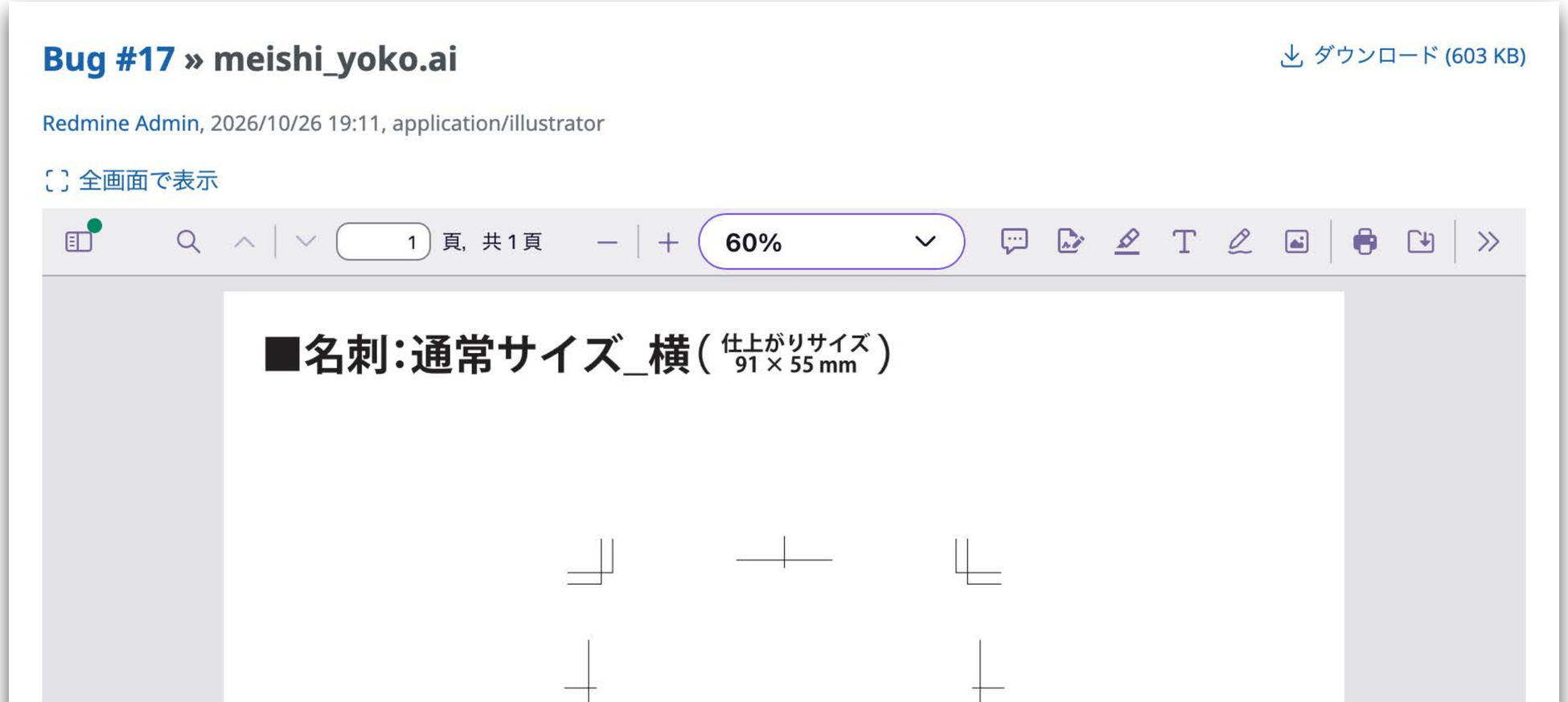


- Redmine 4.1（2019年リリース）でクリップボードからの画像の貼り付けに対応してからは、貼り付けた画像も添付ファイルとして数えられるため、さらに上限に達しやすくなっていました
- 上限は、チケット・Wiki・ニュース・文書・フォーラム・ファイルなど、ファイルを添付するすべての画面に共通です。REST APIによる添付には、これまでと同じく上限はありません
- この上限は、1回の操作で添付できるファイル数に対するものです。1つのチケットなどに添付できるファイルの総数には制限はありません

Adobe Illustratorファイルのプレビュー表示

Feature #44362: Preview PDF compatible Adobe Illustrator files (by Go MAEDA)

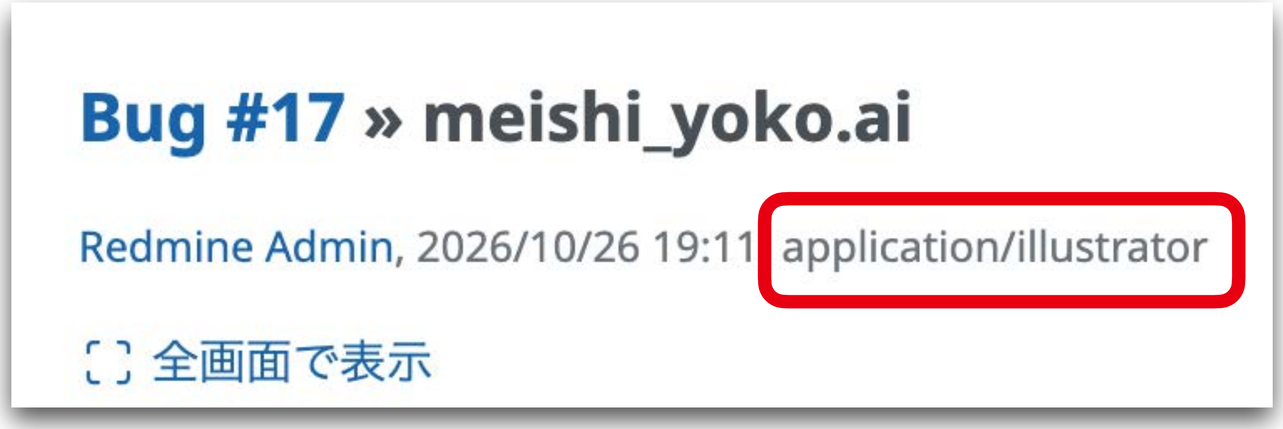
PDF互換形式で保存されたAdobe Illustratorのファイル(.ai)を、PDFと同じようにRedmineの画面上でプレビュー表示できるようになります。デザイン案などの添付ファイルをダウンロードせずに確認できます。



- Illustratorは標準でPDF互換形式で保存するため、多くの.aiファイルはPDFとしても読めます。Redmine 7.0で追加されたPDFプレビューが.aiファイルにも対応するよう拡張されます

- プレビューされるのは、ファイルの内容からPDF互換のIllustratorファイルと判別できたものだけです。PDF互換を無効にして保存したファイル(PostScript形式)はプレビューされません

- ⚠️**注意**⚠️ 2027新春アップデート以前に添付されたIllustratorファイルはPDF互換形式でもプレビューできません



PDF互換（プレビュー可能）と判定されたIllustratorファイルはファイル種別が「**application/illustrator**」と表示されます

（ファイル種別表示も2027新春アップデートで追加）

カスタムフィールド

MY REDMINE

日付形式カスタムフィールドのデフォルト値の相対値による指定

Feature #44129: Allow relative default values for date format custom fields (by Go MAEDA)

日付形式のカスタムフィールドのデフォルト値の指定方法が選択可能に。これまでの固定の日付に加えて現在日付からの相対値でも指定できるようになります。



- 日付形式カスタムフィールドに「**デフォルト値の指定方法**」が追加されます。「**相対値**」を選ぶと、現在日付を基準とした日数でデフォルト値を指定できます
- 例えば相対値に「7」を指定すると、チケット作成日から7日後の日付がデフォルト値になります
- 「○日後」「○日前」のような動的なデフォルト値を設定できるようになります



絶対値による指定（これまでと同じ方法）



相対値による指定（新たにサポート）

ユーザー形式のカスタムフィールドがグループ選択に対応

Feature #21026: Allow selecting groups in user format custom fields (by Go MAEDA)

ユーザー形式のカスタムフィールドで、ユーザーだけでなくグループも選択肢に表示させることができるようになりました。



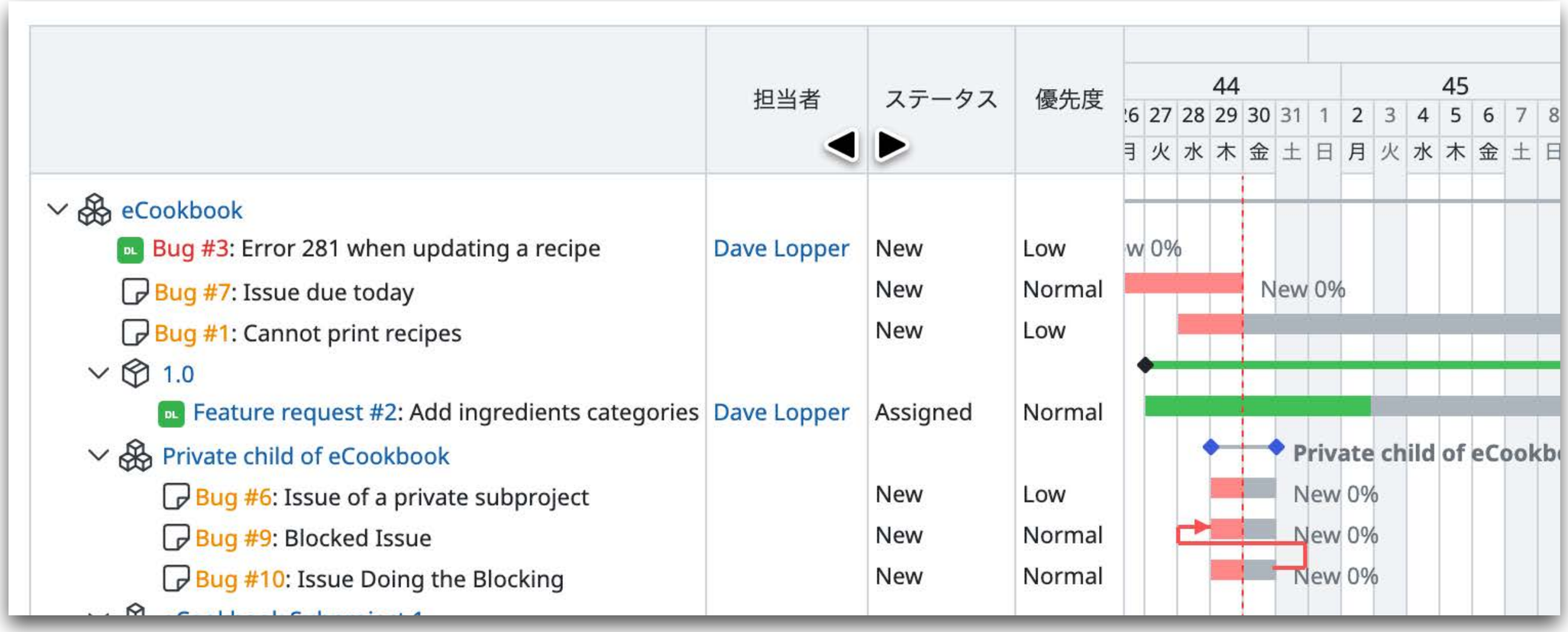
- ユーザー形式カスタムフィールドの作成/編集画面に「**選択肢**」が追加され、「**ユーザー**」「**ユーザーとグループ**」「**グループ**」が選択できます。既定値の「**ユーザー**」が選択されているときはこれまでと同じ動作です
- 選択できるのは、プロジェクトのメンバーになっているユーザー・グループです

ガントチャート

ガントチャートの列幅の記憶と自動調整

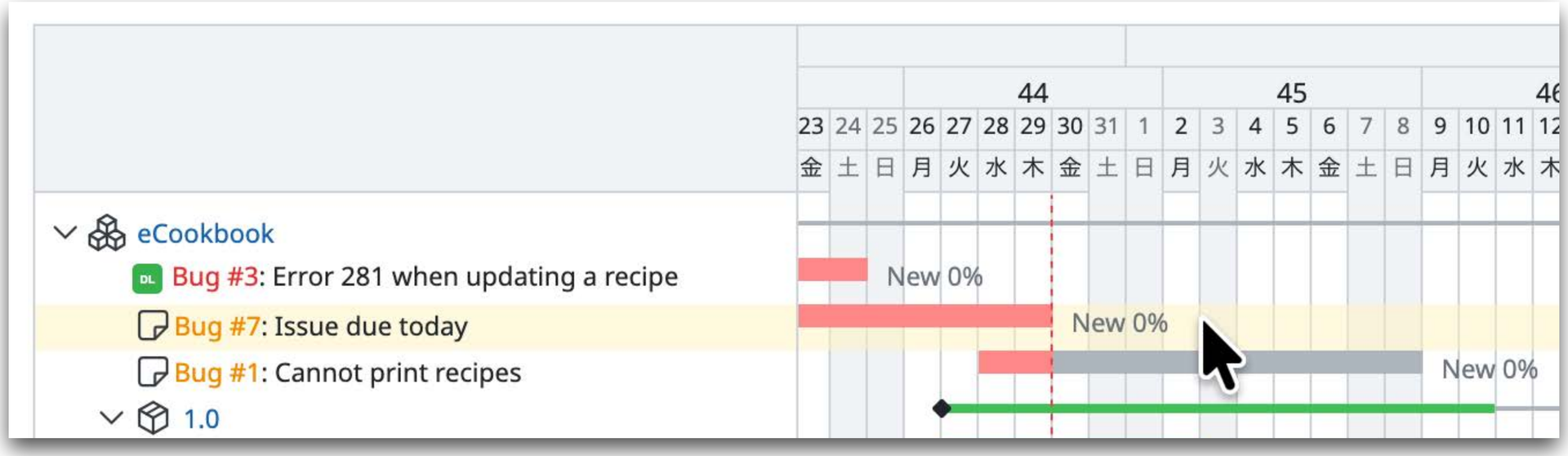
Feature #44608: Remember and auto-fit Gantt column widths (by Katsuya HIDAKA)

ガントチャートで調整した列の幅が記憶されるようになります。表示する月やズーム、フィルタを変えても、調整した幅のまま表示されます。また、列の境界をダブルクリックすると、内容に合わせて幅が自動調整されます。



- 列幅は列ごとにブラウザ内（localStorage）に保存され、すべてのプロジェクトのガントチャートに共通して適用されます。別のブラウザやユーザーには影響しません
- ダブルクリックによる自動調整では、見出しと表示中の行の内容がすべて収まる幅になります。調整後の幅も記憶されます

- ガントチャートにおいては本件を含めた今後の機能追加をしやすくなるよう、HTML構造の刷新が行われました（#44567）。この刷新の過程で描画が高速化しています
- このほか、ホバー中の行全体のハイライト（#44580）が追加され、またOpen Color化（#44689）も行われています



チケット

MY REDMINE

祝日などの特定の日付を休業日として登録できる「個別休業日」

Feature #1459: Allow holidays to be registered as non-working days (by Go MAEDA)

曜日単位の休業日に加えて、祝日や会社の休日など特定の日付を休業日として登録できるようになります。祝日がカレンダーやガントチャートに表示され、後続チケットの日程も祝日を避けて調整されるため、祝日を踏まえた日程を組めるようになります。



- 「**管理**」→「**設定**」→「**チケットトラッキング**」の「**休業日**」の下にある「**個別休業日の管理**」から登録します。日付には祝日名などの名称を付けることもでき、カレンダーと活動画面に表示されます
- 後続チケットの日程が自動で調整されるときも、曜日単位の休業日と同じように個別休業日を避けて開始日と期日が再計算されます
- CSVインポートで祝日の一覧をまとめて登録できます。読み込む列と日付の形式を指定できるので、様々な提供元のCSVファイルに柔軟に対応できます（内閣府が公開している国民の祝日CSVファイルももちろんインポート可能）
- CSVエクスポートもできます。登録済みの個別休業日データをエクスポートして別のRedmineでインポートできます

月 2月 年 2027 ✓ 適用 クリア カスタムクエリを保存

« 1月 3月 »

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
5	31	1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	0	建国記念の日 11	12	13
7	14	15	16	17	18	19	20

活動

2026/09/14から2026/09/23まで

2026/09/23 (水) 秋分の日

DL 18:40 Bug #1026: Exporting the recipe list to PDF fails with an internal error

The fix has been committed. I attached the exported file for reference.

Dave Lopper

RA 18:19 Bug #1025 (New): WebP image

トラッカーごとにチケットをデフォルトでプライベートにする設定

Feature #9432: Default value for the private issue flag (by Go MAEDA)

トラッカーの設定に「**デフォルトでプライベート**」が追加されました。ONにしたトラッカーでは、新しいチケットの作成画面で「**プライベート**」があらかじめチェックされた状態になり、非公開にすべきチケットのチェック漏れを防げます。



- 「**管理**」→「**トラッカー**」の各トラッカーの編集画面で設定します。社内向けの作業を扱うトラッカーだけをデフォルトでプライベートにする、といった使い分けができます

- あくまで初期値なので、作成時にチェックを外せばプライベートではないチケットとして登録できます。

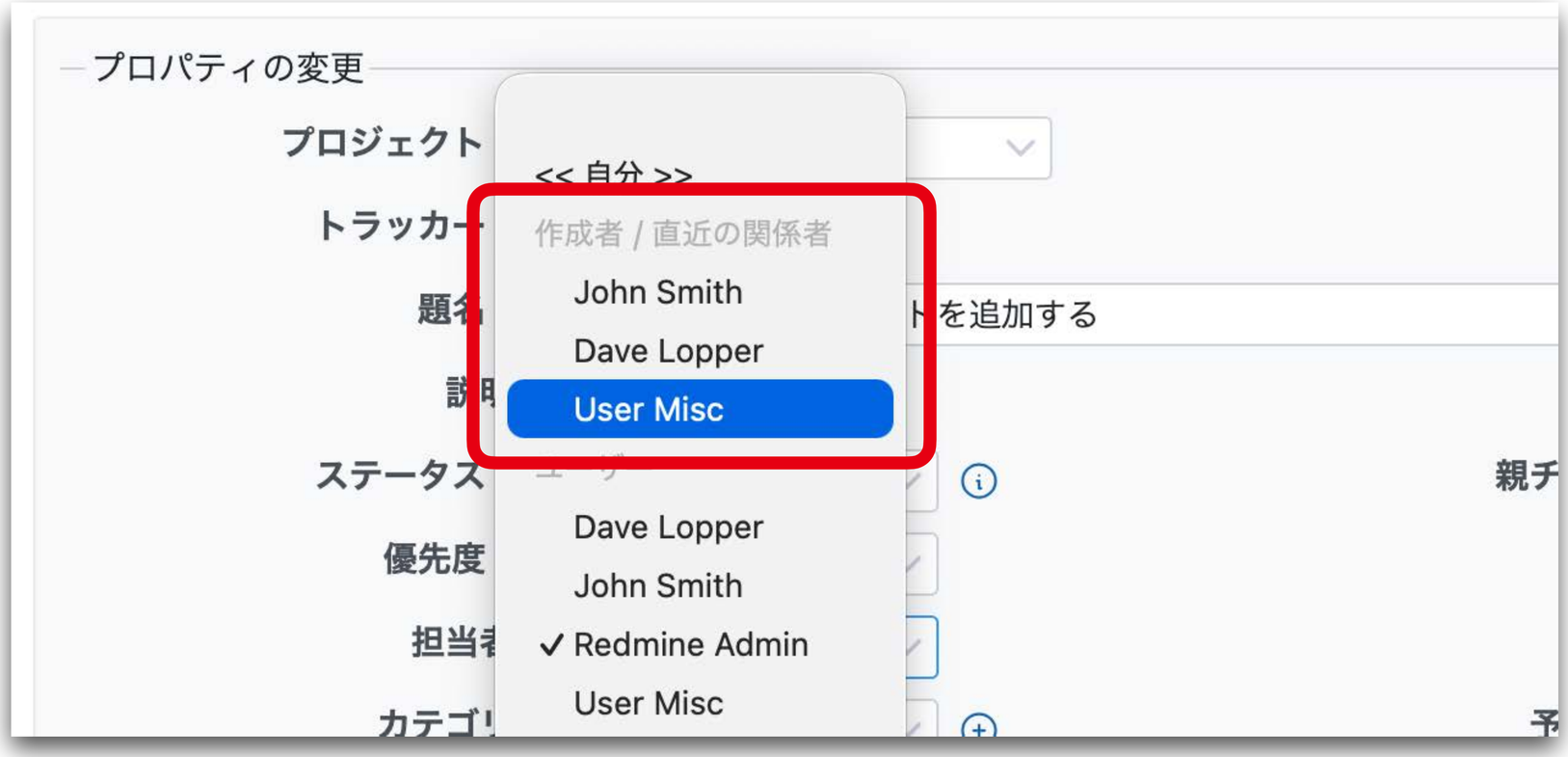
- 「**チケットのプライベート設定**」「**自分が追加したチケットのプライベート設定**」のどちらの権限も持たないユーザーが作成したチケットは、この設定がONでもプライベートになりません

MY REDMINE

チケットの担当者の選択肢で最後にコメントしたユーザーを選択しやすく

Feature #44021: Include the latest note author in the assignee dropdown's "Author / Previous assignee" group and rename it to "Author / Recent participants" (by Go MAEDA)

チケットの「**担当者**」のドロップダウンの「**作成者 / 直前担当者**」グループに、最後にコメントを書いたユーザーが加わり、グループ名が「**作成者 / 直近の関係者**」に変わります。コメントでやり取りしながら作業を進めるときに、最後にコメントした人へすばやく担当を渡せます。



- 「**作成者 / 直近の関係者**」には、①作成者、②直前の担当者、③最後にコメントを書いたユーザーの順で表示されます。同じユーザーは1回だけ表示されます

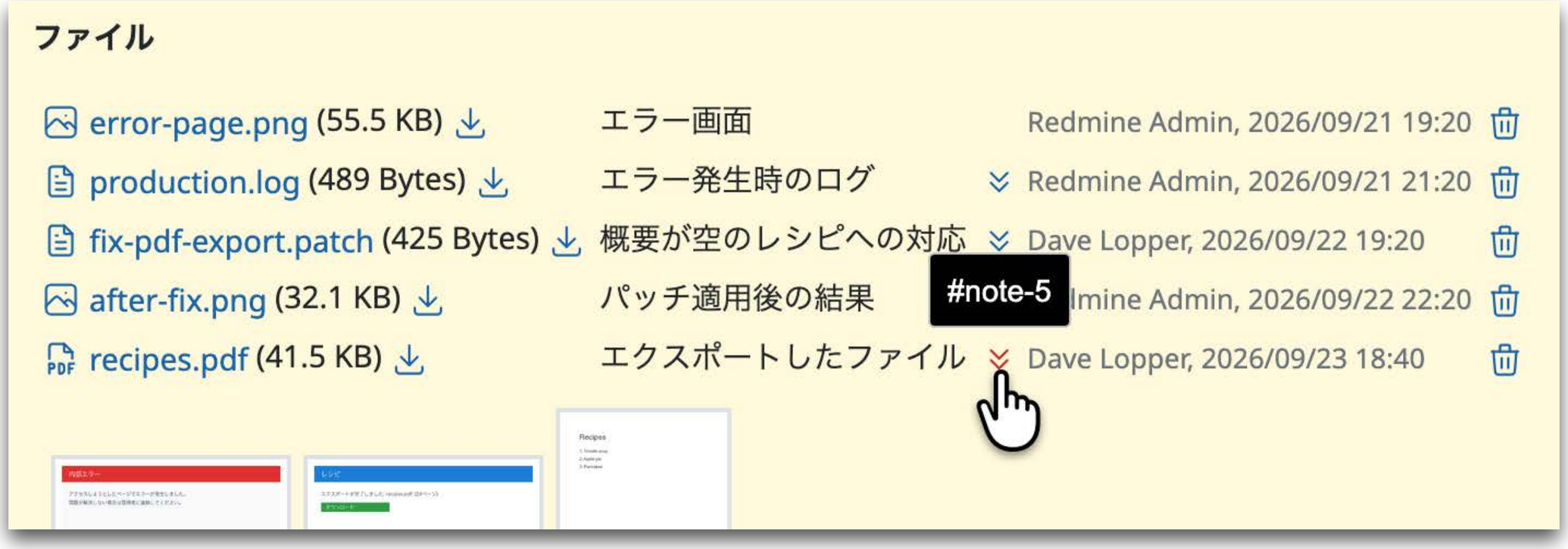
- 対象になるのはコメントを書いた更新だけで、コメントなしでステータスなどを変えただけの更新は対象外です。また、閲覧を許可されていないプライベートコメントも対象外です

MY REDMINE

チケットの添付ファイル一覧から追加時の履歴へ移動するリンク

Feature #44552: Add a link from each issue attachment to the note in which it was added (by Go MAEDA)

チケットの「**ファイル**」欄の各ファイルに、そのファイルが追加されたときの履歴へ移動するアイコンが表示されるようになります。ファイル添付時のコメントをワンクリックで表示できるので、そのファイルが添付された経緯や説明を簡単に確認できます。



- アイコンは各ファイルの作成者・日時の左に表示されます。アイコンにマウスカーソルを重ねると、移動先(例: #note-5)が表示されます
- チケットの作成時に添付したファイルには、対応する履歴がないためアイコンは表示されません。閲覧を許可されていないプライベートコメントで追加されたファイルにも表示されません
- 「**コメント**」「**作業時間**」などのタブを選択していて移動先の履歴が表示されていないときは、「**履歴**」タブに切り替えてから移動します



REST API

MY REDMINE

「文書」に対するREST API

Feature #18245: Documents REST API (by Mizuki ISHIKAWA)

プロジェクトの「文書」をREST APIで操作できるようになります。文書の一覧と内容の取得、作成、更新、削除を外部のプログラムから行えるので、成果物やマニュアルを文書として自動で登録するといった連携ができます。

```
$ curl -H "X-Redmine-API-Key: $API_KEY" http://localhost:3999/documents/5.json
{
  "document": {
    "id": 5,
    "project": {"id": 7, "name": "販売管理システム"},
    "category": {"id": 3, "name": "技術文書"},
    "title": "バージョン2.1.0 リリースノート",
    "description": "CIサーバーでビルドした成果物とリリースノートです。",
    "created_on": "2026-11-24T03:30:48Z",
    "updated_on": "2026-11-24T03:30:48Z"
  }
}
```

チケットとニュースのリアクションをREST APIで取得

Feature #44288: Add reactions to REST API responses for issues and news (by Go MAEDA)

チケットとニュースに付けられたリアクションを、REST APIで取得できるようになります。Redmine 6.1で追加されたリアクションは画面でしか確認できませんでしたが、誰がリアクションしたかを外部のプログラムからも把握できます。

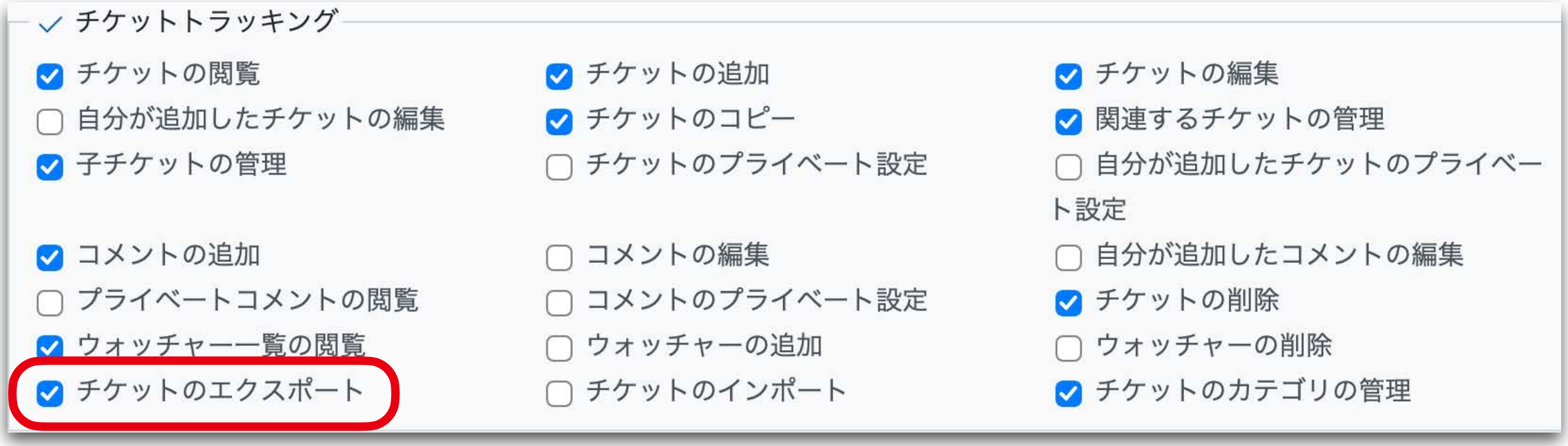
```
$ curl -s -H "X-Redmine-API-Key: $API_KEY" \
    'http://localhost:3999/issues/33.json?include=reactions' \
    | jq '.issue | {id, subject, reactions}'
{
  "id": 33,
  "subject": "受注一覧のCSVエクスポートに対応する",
  "reactions": [
    {"user": {"id": 17, "name": "鈴木 一郎"}},
    {"user": {"id": 16, "name": "佐藤 花子"}},
    {"user": {"id": 15, "name": "山田 太郎"}}
  ]
}
```

ロールと権限

新権限「チケットのエクスポート」「作業時間のエクスポート」

Feature #44424: Add "Export issues" and "Export time entries" permissions (by Go MAEDA)

チケットと作業時間のCSVやPDFなどへのエクスポートを、ロールごとに許可・禁止できるようになります。情報の大量持ち出しや、公開プロジェクトでクローラーが大量のCSV・PDF生成を要求することによるサーバーへの負荷を抑制できます。



- 「**チケットのエクスポート**」は、チケット一覧のCSV・PDF、チケット1件のPDF、ガントチャートのPDF・PNG、レポートのCSVが対象です
- 「**作業時間のエクスポート**」は作業時間の一覧とレポートのCSVが対象です
- これまでのバージョンではエクスポートの権限があったのはWikiだけで、チケットや作業時間は閲覧できるユーザーなら誰でもエクスポートできました

テキスト書式

Mermaid記法による図の描画

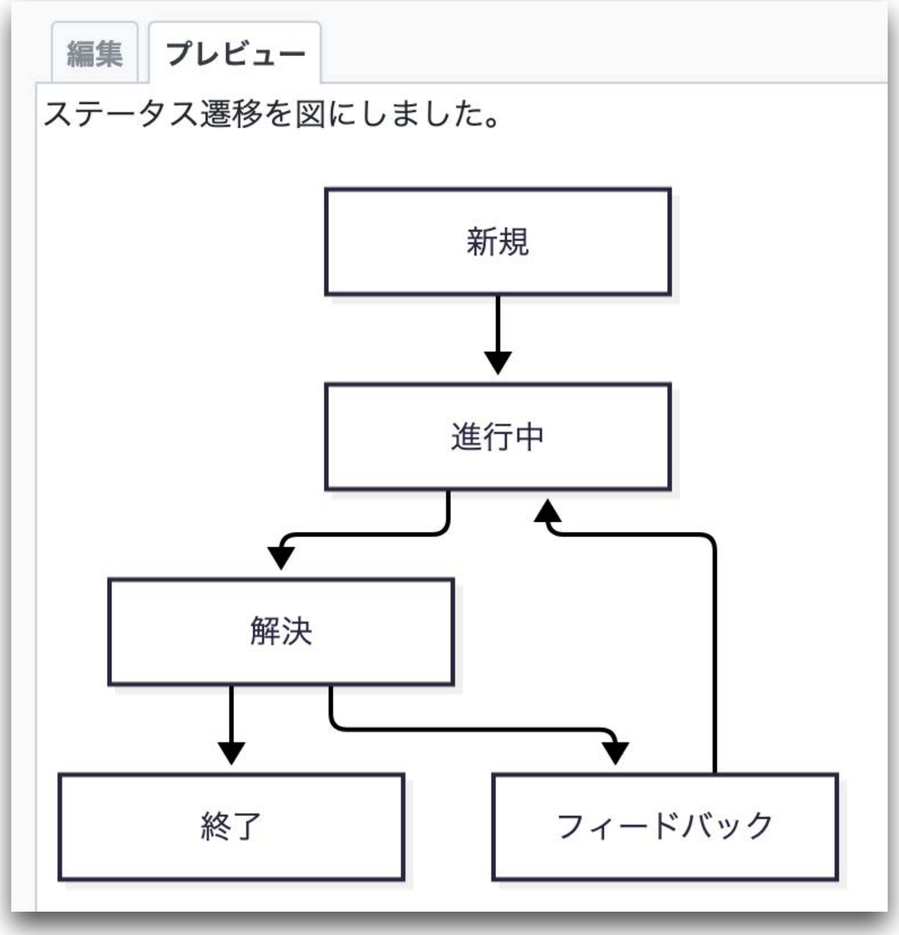
Feature #44425: Render Mermaid code blocks as diagrams (by Mizuki ISHIKAWA)

WikiやチケットでMermaid記法のコードブロックを記述することでフローチャートやシーケンス図などを描画できるようになります。画像ファイルを作ることなく、テキストだけで図を記述・修正できます。

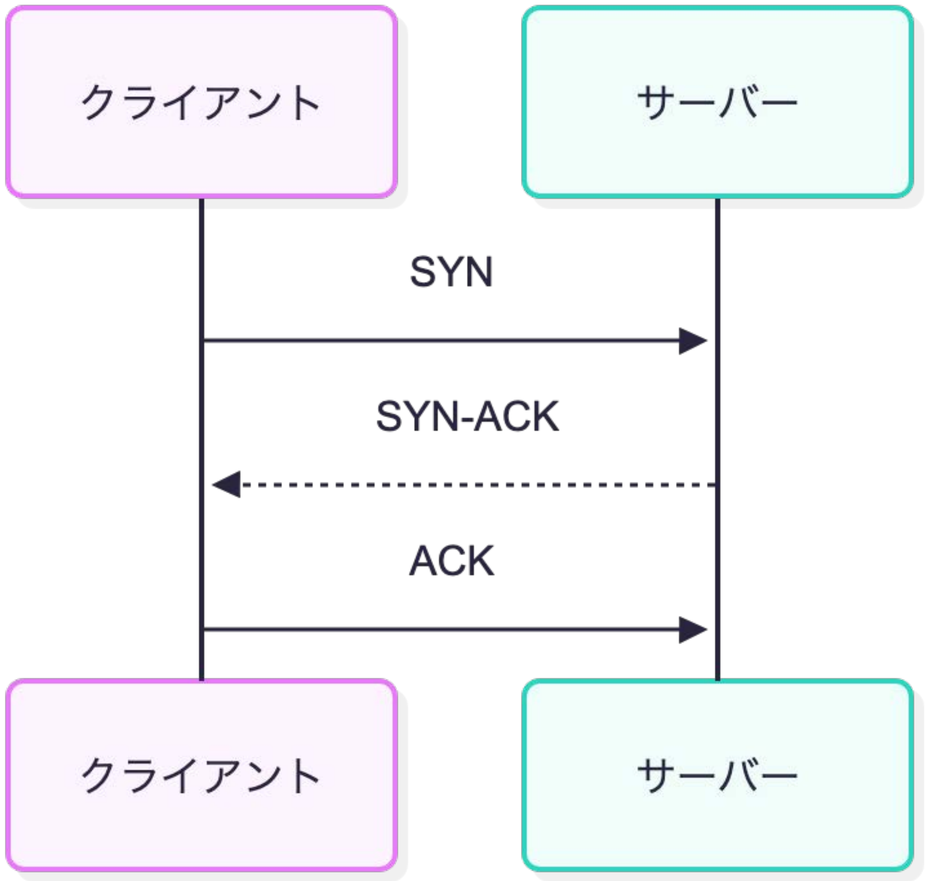
編集 プレビュー B I U S C H1 H2

ステータス遷移を図にしました。

```mermaid
flowchart TD
New[新規]  --> InProgress[進行中]
InProgress --> Resolved[解決]
Resolved   --> Closed[終了]
Resolved   --> Feedback[フィードバック]
Feedback   --> InProgress
```



- シンタックスハイライトの言語指定の書式を使って、コードブロックの言語部分に「mermaid」を指定して記述します
- 描画された図はPNG形式の画像としてダウンロードもできます

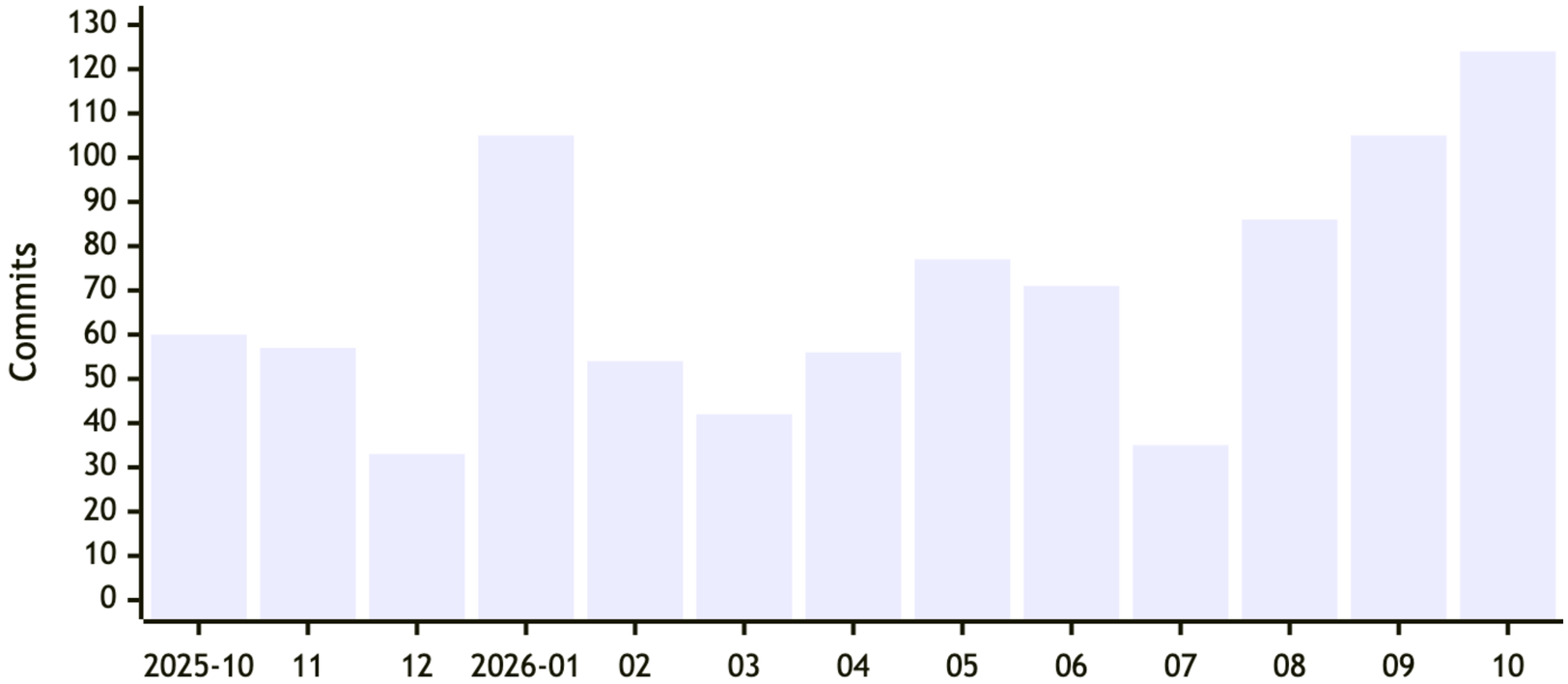


Markdown:

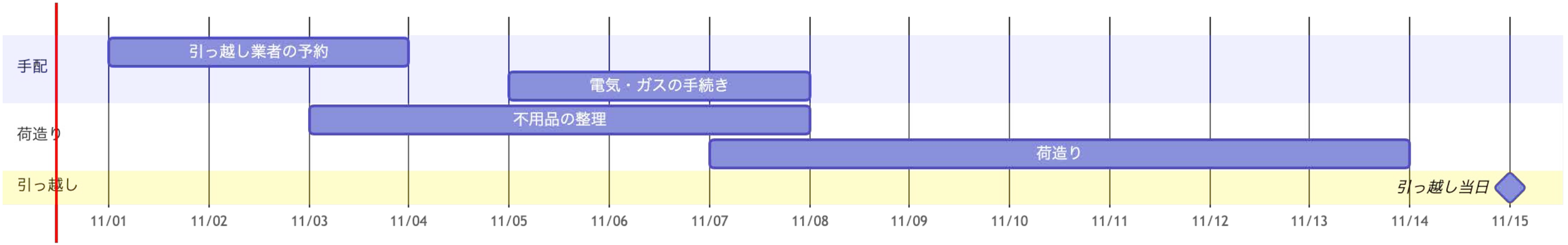
```
```mermaid
sequenceDiagram
    participant Client as クライアント
    participant Server as サーバー
    Client->>Server: SYN
    Server-->>Client: SYN-ACK
    Client->>Server: ACK
```
```

Textile:

```
<pre><code class="mermaid">
sequenceDiagram
    participant Client as クライアント
    participant Server as サーバー
    Client->>Server: SYN
    Server-->>Client: SYN-ACK
    Client->>Server: ACK
</code></pre>
```




```mermaid
xychart
    title "Monthly commits"
    x-axis ["2025-10", "11", "12", "2026-01", "02", "03", "04", "05", "06", "07", "08", "09", "10"]
    y-axis "Commits" 0 --> 130
    bar [60, 57, 33, 105, 54, 42, 56, 77, 71, 35, 86, 105, 124]
```




```mermaid
gantt
    axisFormat %m/%d

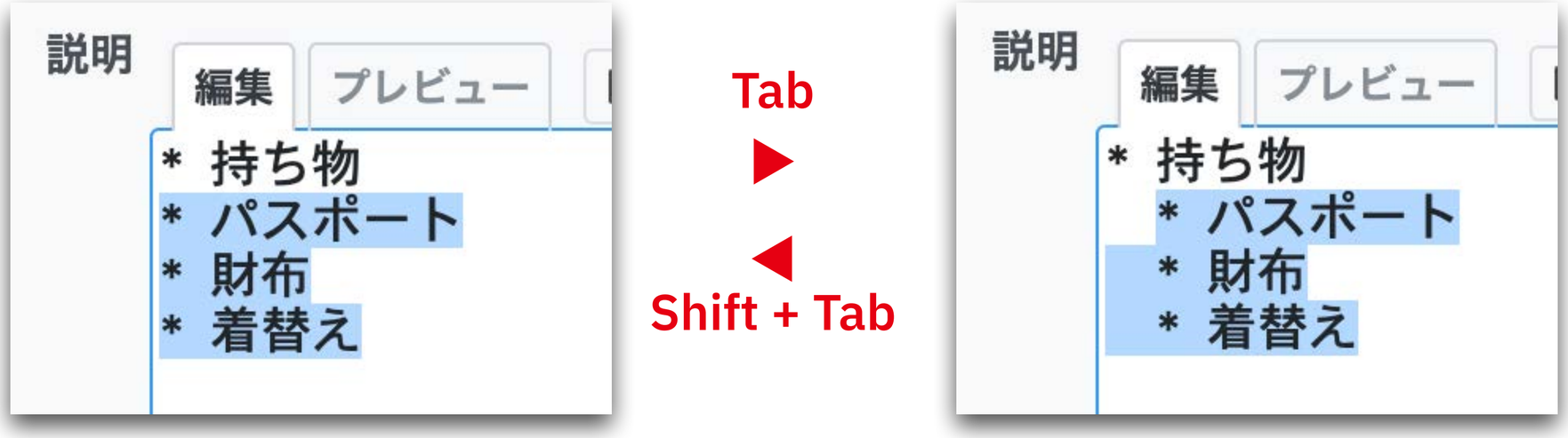
    引っ越し業者の予約 :2026-11-01, 3d
    電気・ガスの手続き :2026-11-05, 3d
    不用品の整理 :2026-11-03, 5d
    荷造り:2026-11-07, 7d
    引っ越し当日 :milestone, 2026-11-15, 0d
```

MY REDMINE

Tab / Shift+Tabによるインデント / アンインデント

Feature #44061: Support Tab/Shift+Tab indentation of selected textarea lines in CommonMark Markdown (by Mizuki ISHIKAWA)

テキスト入力欄でテキストを選択した状態でTabキーを押すと、選択した各行の先頭に空白2文字が追加されてインデントされるようになります。Shift+Tabキーでアンインデントできます。



- 複数行を一度の操作でインデント・アンインデントできます
- 箇条書きや番号付きリストの階層変更を効率よく行えます
- 多くのエディタと同様の操作感でMarkdownを編集できます
- 「テキスト書式」の設定が「CommonMark Markdown」のときに動作します。
  Textileには対応していません



UI

MY REDMINE

アバター画像のアップロード

Feature #12197: Allow users to set their avatar in Redmine (by Go MAEDA)

画像をRedmineに直接アップロードして自分のアバターとして設定できるようになります。これまでは外部サービスのGravatarを利用する必要がありました。



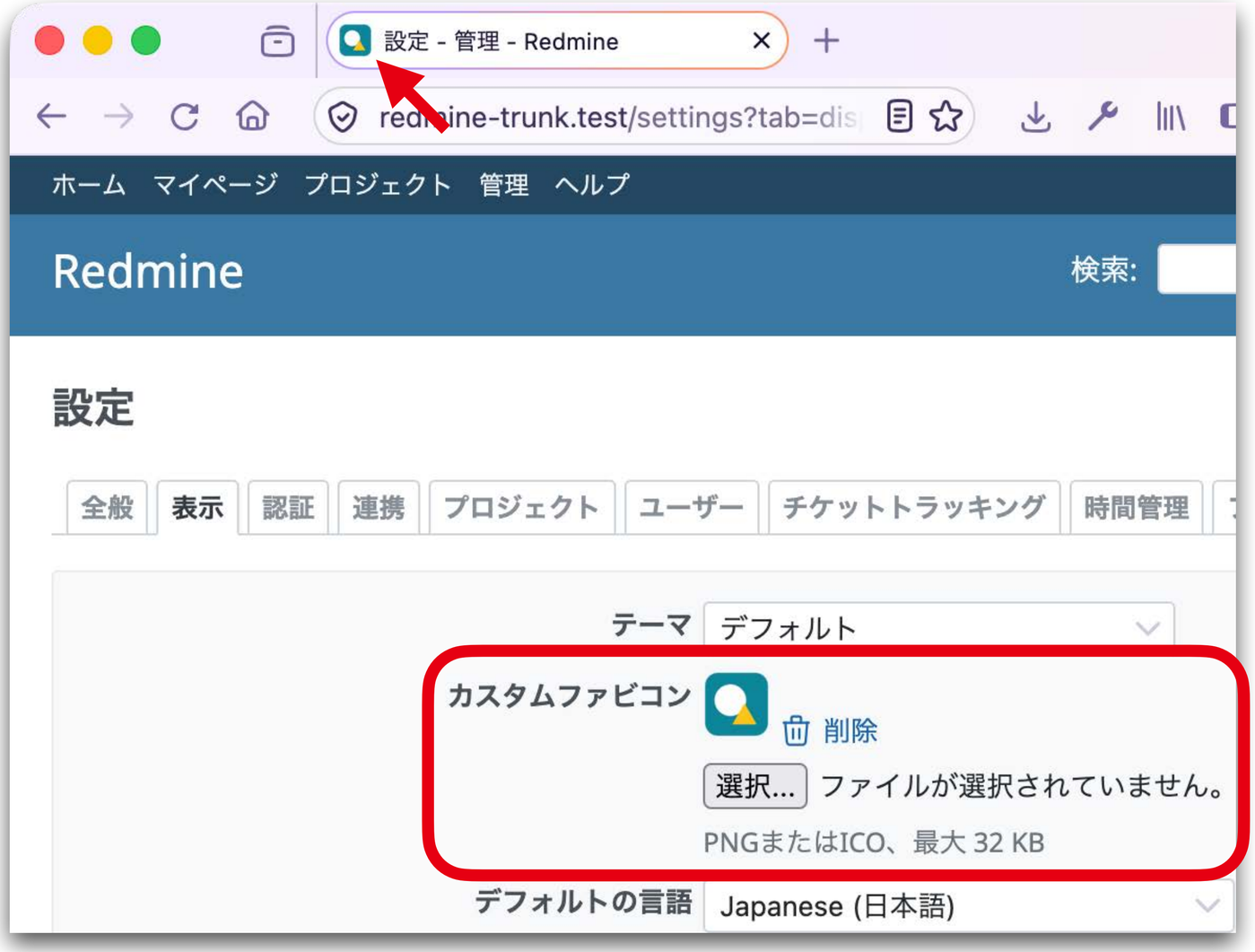
- 「**個人設定**」→「**アバター変更**」から画像をアップロードします
- システム管理者は、ユーザーの編集画面の「**アバター変更**」から任意のユーザーのアバターを変更・削除できます。ログインしないアカウントに画像を設定したり不適切な画像を削除したりできます
- 画像を設定していないユーザーには、これまでと同じくGravatarまたはイニシャルのアバターが表示されます
- この機能は「**管理**」→「**設定**」→「**表示**」→「**ユーザーによるアバターの設定を許可**」で無効にできます(既定はON)

カスタムファビコンのアップロード

Feature #44646: Allow administrators to upload a custom favicon (by Go MAEDA)

ブラウザのタブなどに表示される
ファビコンを、管理者が画面からアップ
ロードして変更できるようになります。

ファビコンを変えるためだけにテーマを
作ったり、サーバー上のファイルを置き
換えたりする必要がなくなります。



- 「**管理**」→「**設定**」→「**表示**」→「**カスタムファビコン**」でアップロードします。PNGまたはICO形式で、32KBまでの画像が使えます
- カスタムファビコンは、テーマのファビコンや標準のファビコンより優先されます。削除するとテーマまたは標準のファビコンに戻ります
- 日常的に複数のRedmineを使っている場合は、Redmineごとに異なるカスタムファビコンを設定することで識別しやすくなります

プラグイン・
My Redmine独自機能の改善

SAML認証機能（エンタープライズプラン）

SAML認証でログインした際に、ログイン前にアクセスしようとしていたページが表示されるようになりました。これにより、チケットやWikiページなどのURLに直接アクセスした場合でも、SAML認証の完了後に目的のページを開くことができます。（SAML認証機能は、My Redmine Gen.2のエンタープライズプランでご利用いただけます）





チケットパネル

カードをクリックした際に、意図せずドラッグ操作と判定され、チケットを開きにくいことがある問題を修正しました。これにより、カードをクリックしてチケットを開く操作がしやすくなりました。（チケットパネルは、チケットをカード形式の一覧で表示するプラグインです）

